

学校教育目標	「学び合い」・「個性」・「自立」 1 生きるための基本的な生活習慣・学力を身につける生徒を育てます。【知】 2 自分のまわりの人とふれあい、お互いを大切にすることを育てます。【徳】 3 自他の生命を尊重し、健康でたくましい体を育てます。【体】 4 社会の一員として自覚をもち、自分の生き方を決められる生徒を育てます。【公】 5 体験を通して自分を豊かにし、社会の変化に柔軟に対応できる生徒を育てます。【開】				
	学校概要	創立 76 周年	学校長 井上菜穂子	副校長 木原哲典	2 学期制 一般学級：24 個別支援学級：3 児童生徒数： 852 人 主な関係校： 長津田小・長津田第二小・いぶき野小

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	田奈中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
コミュニケーション力 問題解決能力 社会貢献活動 危機管理意識	田奈中学校 長津田小学校 長津田第二小 学校 いぶき野小学校	自ら学び、活用探求し、未来にひらく知を創造する子ども ----- 小中ブロックにおける授業交流 小中ブロックにおける教員研修 小中合同での行事の推進

中期取組目標	誰もが安心して自分らしさを発揮し、居心地の良い温かい学校づくりを目指します。 ・気持ちの良い挨拶や言語総力を育てることで、コミュニケーションの大切さを育てます。 ・個に応じた指導の充実とわかる授業の実践及び主体的に散り組む授業の工夫を目指します。 ・道徳教育を充実させ、他人を思いやる心や生命及び人権を尊重する心を育てます。 ・学校行事や部活動では、自ら目標を立て行動する力や粘り強く取り組む態度を育成し、心や体を鍛えます。 ・地域との連携を深め、発信力を上げ、信頼される開かれた学校づくりを進めます。
--------	--

重点取組分野	具体的取組
知 生きてはたらく知	①教科カリキュラムを作成・配布し、生徒・保護者への周知に努める。 ②3年生で数学の習熟度別授業、全学年で保体のTT授業を実施して、基礎の定着と安全配慮、個別の対応を進めていく。 ③学び場を取り入れ、学生ボラによる放課後学習相談を行う。④0校時を設定して基礎学習の時間を確保する。
徳 豊かな心	①道徳では、自己を見つめて物事を広い視野から多面的・多角的に考える授業づくりをめざす。 ②生徒の発達段階に応じた平和学習や人権学習を行う。司書や国語科と連携しての読書の推進も行う。 ③学校の仲間、家族、地域の一員としての自覚を高め、社会で通用する規範意識の育成を行う。
体 健やかな体	①学校保健委員会などで、自らの心身の健康や食育の観点からも自己管理のできる生徒の育成をめざす。 ②保体の授業には複数教員で入り、健康安全に努めながら、各自の体力向上への意欲を高める。 ③体育的行事や部活動、及び学校外の活動にも積極的に支援して、活気のある学校づくりをしていく。
公 開 キャリア教育	①1年職業講話、2年職場体験学習を通して、職業観や地域との交流、マナー意識を培う。 ②3年では、様々な職業や進路学習を進めて、進路情報の積極的な発信を行う。 ③生徒本人が、自身の進路決定に向けて豊かな選択肢がもてるよう支援する。
いじめへの対応	①教育相談、毎月の生活点検、いじめアンケートの実施から、生徒一人ひとりの状況についての記録を作成し、いじめ防止対策委員会を中心とした支援を進める。 ②週一回の生活指導連絡会で、生徒情報をこまめに共有して、月一回の会合で対応を確認し合う。
人材育成・ 組織運営(働き方)	①全職員対象の研修を通し、指導改善や危機管理意識向上に努める。メンター研修では、経験の浅い教員の指導力や学校経営意識の向上を図る。②授業研究週間を設け、新学習指導要領や新しい評価方法をにそった見通しのある授業力をつける。③自動採点の導入や事務処理日の設定など、業務の効率化を図る。
生徒指導	①毎月末の生活点検、4月、8月に長期休業明けの生徒面談、7月、12月の保護者面談を実施し、生徒理解や保護者との連携を深める。②地域や小学校との会合(学校運営協議会・小中合同研修会など)やカウンセラーの活用を通して、豊かな生徒支援と適切な課題解決をめざす。③毎週の生活指導部会で情報共有する。
特別支援教育	①個に応じた適切な支援ができるよう、週一回の特別支援委員会で情報交換を行い、実態把握と適切な支援に努める。②家庭や関係諸機関と連携を深めながら、個別の支援計画作成と支援教室(SSルーム)の活用など、具体的な手だてを講じ、きめ細かな指導を行う。③校内ハートフル事業の一層の推進。
担当	b9
担当	b10
担当	